

どうやって出すの 資源？ゴミ？それとも



取っ手等の木やプラスチックは、はずす必要はない

- 不要になった灯油や油類、ペンキ、農薬、消毒剤は販売店へ
(古くなった食用油は少量なら新聞・紙等にしみこませて燃やせるゴミ袋へ)
- 中身の入っている消火器は専門業者が販売店

- 陶磁器、ガラス製食器
- 小型家電製品 (ラジオハンディークリーナー等)
- 鋭利なもの (包丁、釘など)

(ST)



詳しくは「あきる野の
ごみの出し方保存判」
をみてね

検定で暮らしを豊かに

近年、「検定ブーム」が続いています。ごみや環境問題に関する検定がいくつかあります。知識や暮らしの質を高めるために行ってみてはいかがでしょうか？2つの検定を紹介します。

① 3R検定

<http://www.3rkentei.jp/index.html>
3Rとはリデュース (廃棄物の発生抑制) リユース (再利用) リサイクル (再資源化) の略。問い合わせは3R検定実行委員会
TEL 075-641-3220

② eco検定 (環境社会検定試験)

<http://www.kentei.org/eco/index.html>
環境問題やエコの知恵、時事問題などから出題。
2010年度は7月25日と12月19日に開催。
問い合わせは、東京商工会議所検定センター
TEL 03-3989-0777

編集後記

「あきる野ごみ会議」会長として、ラジオ番組に出演しました。昨年12月19日(土)「東京都市長会 レジ袋削減キャンペーン担当」の依頼で、あきる野市のゴミ会議の発足から今までの取組み経緯やレジ袋削減に関するパークショッピングセンターの取組みについて、約20分の生放送に出演しました。テレビ東京系列のFM放送「インターFM」、番組は「グリーンステーション」と言い、11:30~11:50 20分間の「レジ袋削減キャンペーン」のコーナーでした。生放送と言うこともあり、極度の緊張の中で、年度や、数の間違いが無いように原稿を手元に置きながら、DJの方の質問に答える形式で実質10分程度話をさせ

てもらいました。最初はゴミ会議のことを詳しく話そうと思っていたのですが、コーナーがコーナーだけに、レジ袋の使用削減、排出削減が話の中心になり、結局、パークショッピングセンターの「レジ袋有料化」の推移と現状の話がほとんどでした。やはり、3年間で90%の削減には、驚かれて、他のスーパーにも波及すれば良いのという言葉もいただきました。あきる野ごみ会議の活動目標の一つである、「市内スーパー、コンビニ、ドラッグストア」等々への、「レジ袋有料化」の推進を強く再認識させてもらった1日でした。

(SM)

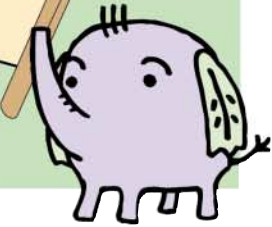
へらすぞう



げん人くん

第13号 2010年3月

へらすぞう



あきる野ごみ会議は、市民・事業者・市の3者が協力して活動している団体です。

日本列島はゴミの山に?!

としないために...

リサイクルしているからって、安心して、そんなに必要のないものを買って、たくさん処分してはいませんか。

よく考えたら、日本は、原材料にしる、製品にしる、殆どが輸入です。莫大な量でしょう。それらは、みんな最後には、ゴミとなります。

食料は食べたらなくなりますが、(勿論、排泄物は出て処理が必要) 野菜や果物の農産物は、皮などが残りますし、輸入した食材で作った食品 (日本の自給率は3割! = 7割が輸入です) のうち、何と、1日で3000万人分が残飯となるそうです。

- 店の売れ残り (弁当、パン、ハンバーガー他)
 - 飲食店、学校、家庭などでの食べ残し
- 一方で、この地球には1日1食もまともに食べられない人々が、10億人とか。(国連調査) また、たとえば木材の輸入を考えてみましょう。国

日本の農業を大切にしたいね!



産材より安いからと東南アジアからの輸入が多いです。結局、日本の森は手入れが行き届かず荒れてゆき、外国の森は「丸はだか」になって災害をもたらす、ということも起こっています。

(ちなみに、地球最大の酸素供給地、アマゾンの森林は木材のみならず、牛の放牧、農産物のためにどんどん木が切られ、このままでは100年後には消えてしまうとも言われています。)

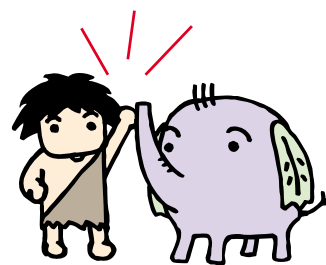
製品は? 服にしる電気製品にしる、安い物がいっぱい輸入され、こわれたり、飽きたりして、最後はごみに...

少し高くても、よいものを、必要なだけ、大切に使用したい。道具や家具や機械も修理して、物を作る側もリユース、リサイクルを考えて...

みんなが、人を大切に、物を大切に行動したら、どんなステキな社会になるでしょう!!

(MT)

あきる野ごみ会議がパワーアップします!

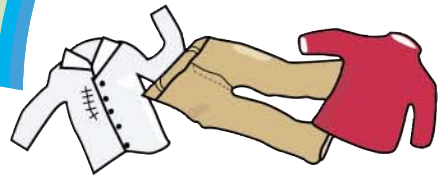
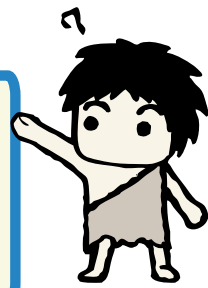


平成16年11月に「市民」「事業者」「行政」の三者が一体となり、ごみの減量、資源循環型社会の構築を目的に設置された「あきる野ごみ会議」ですが、4月より市の条例に定められている「廃棄物減量等推進員」と統合することになりました。個々の人には「廃棄物減量等推進員」として、全体の集まりの時には「あきる野ごみ会議」として活動をしていきます。体制や活動は、今までの「あきる野ごみ会議」を継続していきますので、これからもご支援よろしくお願い致します。

(TT)

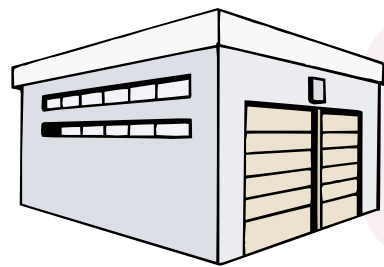
ごみのゆくえ(資源)

今回は衣類を取り上げました



十数年前まではリサイクルの優等生で高値で取引されていた古着等は、近年では劣等生となってしまっており、全国で約60~90%の古布が焼却処分されているといわれています。

西秋川衛生組合(高尾清掃センター)



ウエスとは、もともと古着屋古布を再利用されたもので主に工業分野で、機械設備を整備するために利用されている。最近では、パルプで出来たウエスや不織布の使用が多く見られます。



平成20年度あきる野市収集量440t

ウエス

工場の機械を拭く工業用ぞうきんのこと。Tシャツや肌着がカットされます。

古紙問屋

中古衣料

中古衣料として主に東南アジアへ輸出されます。

反毛

もう一度せんに戻して軍手に加工されたりフェルトになります。

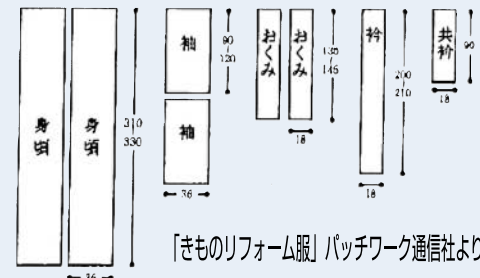
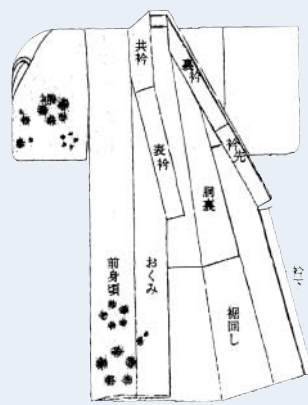
先人たちの知恵が生み出した「きもの」

きものは本来、洗い張り、染め替え、仕立て替えるのを前提に工夫された衣装で、きものとして機能しなくなったら、下着や裏地、布団など別のものにリサイクルされ、最後の最後は裂いてハタキにしていたそうです。使える限りとことん使いきるといのが、先人たちの知恵が生み出した、きもの本来の姿なのです。

衣料は、資源ごみとして処分する前にできるだけリユースする事が重要です。

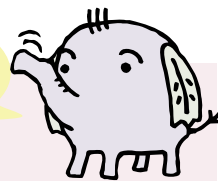
着ないからといってすぐに処分するのではなく、リフォームしたり、フリーマーケットやバザー、リサイクルショップなど、再利用(リユース)しましょう。

(HM)

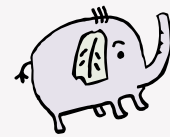


きものをほどこいて出来たパーツが上ようになります。長さは身頃の寸法によって多少前後します。羽織など一部のきものを省いた幅の基本は、反物の並幅(約36cm)、衿やおくみは半分の平幅(約18cm)です。

昔はエコ生活をしてたんだソウ



ちょっとまって!! すぐに捨てないで



まだまだ工夫できるかも

今の世の中、不景気といわれている。でも、リユース、リサイクルには、もってこいの時代でもある。昔から使われ、世界共通語になりつつある“もったいない”という言葉、生かしていきたいものだ。

掃除のときに

- 古くなった👞などは、窓ふき、床、網戸の掃除に、手にはめて使う。
- モップを使う時にも、靴下の甲の部分にハサミを入れて、包みこんで使う。
- 習字の使用済半紙は、風呂場、洗面所などの排水口のゴミとりに使う。
- ストッキングは、台所、排水口や三角コーナーのゴミネットとして。

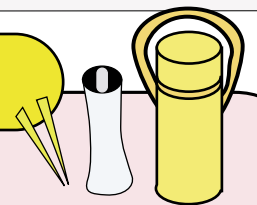
その他

- プラスチック容器(豆腐、菓子など)はできるだけ小さく切ったり重ねたりしてゴミ箱へ。
- 洗剤などのチューブはなくなったあとも、切って、中身を使用(結構残っている)
- 窓付封筒の再使用(お金、写真、領収書などよくみえて便利)
- 布巾がわりにティッシュを使わない。(日本人のティッシュ使用量は世界一)
- オムツは紙から布へ。



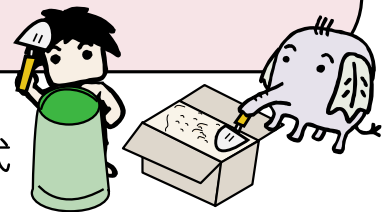
日本人のティッシュ使用量は一年で(200枚入り)18箱だって

食について



- マイはし
マイボトルを持つ。
- フィルターは自分で(ガーゼ)作るか、布フィルターを使う。
- 卵の皮
干して、風呂に入れたり、ふりかけとして
- 大根葉「かきあげ」
「いためもの」で食べる
- 生ゴミは
水切りして、新聞紙に広げ乾燥させてから出す。
あるいは、プランター鉢などの土にまぜる。

コンポスト方式



ダンボール方式

ムズムズした赤ちゃんをトイレに。オムツは殆ど汚さないお母さんもいますヨ



(OY&KA)